

平成28年12月15日

アフリカ開発銀行の「グリーンボンド」への投資について

三井生命保険株式会社（代表取締役社長 有末 真哉）は、この度、アフリカ開発銀行（The African Development Bank：AfDB）が発行する豪ドル建グリーンボンド（公募形式、50百万豪ドル、約42億円相当）へ投資いたしました。

今回の投資は、当社が機関投資家として社会的責任を果たす中で進めている「多様な投資案件への取組み」の一環として実施するもので、アフリカ開発銀行では初となるグリーンボンドの枠組みで発行する豪ドル債への投資となります。

アフリカ開発銀行は、アフリカ大陸の持続可能な経済開発および社会発展を支援し、貧困を削減することを目的に国際開発金融機関として活動を行っており、今回、当社が投資した資金は、グリーンプログラムの目的に適合するプロジェクトへの融資案件（未開発の土地での再生可能エネルギーの生成、生物圏保護プロジェクト、給水事業、固形廃棄物管理、効率的なエネルギー・プロジェクトなど）に活用されます。

当社では、少子高齢化、地球環境問題など、社会の様々な課題に向けて日々行動を重ねていくことが、生命保険会社としての社会的責任であるとの認識のもと、今後も社会全体の健全な発展に少しでも貢献できるよう、より一層努めてまいります。

記

1. 本案件の概要

発行体	アフリカ開発銀行 The African Development Bank
格付	S&P AAA、Moody's Aaa、Fitch AAA
投資額	50百万豪ドル、約42億円相当
発行形態	カンガルー債※、公募

※非オーストラリア発行体（外国企業等）が、オーストラリア国内で発行する豪ドル建債券

2. アフリカ開発銀行について



アフリカ最大の開発金融機関であるアフリカ開発銀行（AfDB）は、主に域内加盟国の持続可能な経済開発および社会的進歩を促進し、その結果として貧困の削減に貢献することを目指して1964年に設立されました。現在、54のアフリカ域内加盟国と、26のアフリカ域外加盟国の出資を受け運営されています。同行は内部・外部資金を活性化・動員して投資を促進しているほか、域内加盟国の開発に向けた活動を支援するため、技術面と財政面で援助を提供しています。

3. コメント

○アフリカ開発銀行財務局チーフ・トレジャリー・オフィサー キース・ワーナー氏のコメント

我々は、今回の豪ドル建市場における画期的な取引に関わることができ、また、本年を締めくくる素晴らしい取引を行えた事を非常に喜ばしく思っています。気候変動ファイナンスへの期待は高まっており、今回の投資は、アフリカ大陸が徐々に環境負荷の軽減を図りながら経済成長を目指すために、投資家の支援を拡大する素晴らしい機会となりました。気候変動プロジェクトを促進する為、アフリカ開発銀行へ頂いた三井生命のサポートに対して、感謝申し上げます。

○三井生命 取締役常務執行役員 櫛部哲男のコメント

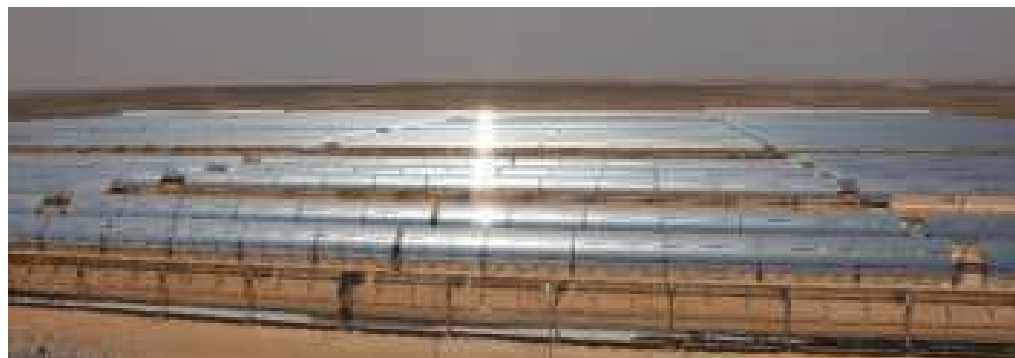
国際開発金融機関として高い信用力を持つアフリカ開発銀行が発行したグリーンボンドへの投資は、天然資源に恵まれながらも世界最大の貧困人口を抱えるアフリカにとって、環境資源の適切な管理と環境改善を図りながら経済発展するための融資案件として活用されるという点で、生命保険会社にとっても大変意義深いものであると考えています。

三井生命は、『こわさないでください。自然。愛。いのち。』をテーマにCSR活動を推進しており、今後も資産運用を通じて豊かな社会の実現に貢献するとともに、収益性の観点からも有益な投資に努めてまいります。

4. グリーンボンド・プロジェクトの例

(1) モロッコ — ワルザザート・ソーラーコンプレックス

- ・ アフリカ最大の集光型太陽熱発電所
 - ・ 2014年末時点の集光型太陽熱発電所の発電規模：160メガワット
 - ・ 年間0.27Mt-Co2e※の温室効果ガス排出削減
 - ・ 資産の耐用年数期間を通じ、Co2排出量を680万トン削減
 - ・ 2012年～2014年の工期期間に800人の期間限定雇用、その後50人の正規雇用を創出
 - ・ 2020年までにモロッコのエネルギー供給全体に占める再生可能エネルギーの割合が上昇
- ※温室効果ガスの排出量を二酸化炭素に換算する際の単位



(2) ザンビア — イテジテジ水力発電プロジェクト

- ・発電規模 120メガワット
- ・年間 0.56 Mt-Co2e の温室効果ガス排出削減
- ・820人の雇用を創出
- ・ザンビア電力網における極度の発電量不足を石炭火力発電所への依存度を低減しながら緩和



(3) モロッコ — ONEE（モロッコ国営電力・水力公社）水力・風力発電プロジェクト

- ・100～300メガワット規模の風力発電所を3つと水力発電所を2つ建設し、ベースロード発電とする
- ・年間 3.3 Mt-Co2e の温室効果ガス排出削減
- ・工期期間中に4,000人の期間限定雇用、350人の正規雇用を創出
- ・村落部の86,000世帯へ新たに電力供給



以上